

<p>五 筆者名 時代 作品名 蘇軾 北宋(宋)時代 黄州寒食詩卷</p>			<p>六 筆者名 時代 作品名 伝藤原公任 平安時代 本願寺本三十六人家集 〔石山切(伊勢集)〕</p>			<p>三 筆者名 時代 作品名 平安時代 風信帖(忽惠帖)</p>			<p>五 古典を正しく学んでいる人は、古典から離れず、かといって古典に束縛されてもいない。古典を不要として顧みない人は、自分の不勉強を取り繕っているに過ぎない。</p>	<p>四 三 紙を半分に折り、折り目の外側にのりを付け貼り重ねたもの。寸松庵色紙、継色紙など。</p>		<p>四 三 折り目のある紙に筆先が当たり、節のような特異な筆勢が現れていること。</p>		<p>三 絹に書いた手紙や文書のこと。</p>		<p>三 三 吾前東粗足作佳観</p>		<p>二 三 処 年 祢</p>		<p>一 四 ① 技能</p>		<p>三 学校運営協議会(制度) (コミュニティー・スクール)</p>		<p>三 ② 表現形式</p>		<p>三 ③ 名筆</p>		<p>三 ④ 風趣</p>		<p>三 ⑤ 伝統</p>		<p>三 ⑥ 風土</p>		<p>三 ⑦ (ウ)</p>		<p>三 ⑧ (オ)</p>	
<p>六 筆者名 時代 作品名 趙孟頫 元時代 蘭亭十三跋</p>			<p>四 筆者名 時代 作品名 懐素 唐時代 草書千字文</p>			<p>三 筆者名 時代 作品名 欧陽詢 唐時代 皇甫誕碑</p>				<p>四 各5点×3</p>		<p>三 各5点×2 (完答)</p>		<p>二 各1点×4</p>		<p>一 (-) 2点 -(二)(三) 各3点×2 -(四)(五) 各2点×6</p>																					

六 作品名・筆者名 各2点×12
時代 各1点×6

五 6点

四 各5点×3

三 各5点×2
(完答)

二 各1点×4

一 (-) 2点
-(二)(三) 各3点×2
-(四)(五) 各2点×6

受験番号	得点 その1	85点
------	-----------	-----

六 30点

五 6点

四 15点

三 10点

二 4点

一 20点

三		
筆者名	時代	作品名
王羲之	東晋時代	楽毅論
三		
筆者名	時代	作品名
光明皇后	奈良時代	楽毅論

七
 (一)の王羲之が書いた楽毅論は引き締まった字形と筆圧の変化が強調された伸びやかな運筆に特色がある。(二)の光明皇后が書いた楽毅論は細部にわたらない大胆な運筆で書かれている。王羲之の楽毅論が日本に伝来し、王羲之を中心とする書法や、隋・唐の書の典型が伝えられた。

七 作品名 各1点×2
 時代・筆者名 各2点×4
 影響 10点

七
 20点

八
 この古典は、整齊な楷書の古典を学習した後に学ぶと想定する。二人ほどのグループに分け、二つの古典の特徴や臨書する際に気をつけたいこと等を話し合わせるグループで出てきた内容を発表し合い、古典の特徴を確認する。書の表現の方法や多様性などについて幅広く理解することができるよう古典が書かれた時代や筆者が書いた他の古典も紹介し、単に好き嫌いではなく、古典の奥深さに生徒が自ら気づくことができるようにしたい。生徒には、この古典はそれぞれのような想いで書いたものだろうかと問う。個性あふれる古典の学習を通じて理解した用筆・運筆を今後の書作品制作に生かすことができるよう学ばせたい。

八 20点

八
 20点

受験番号	得点 その2	40点	得点 合計	125点
------	-----------	-----	----------	------